

講演集会 **国家／社会とキリスト教会**

日時 **2016年4月24日（日）**

午後**2時30分**～**4時30分**

会場 **日本バプテスト浦和キリスト教会**



講師 **ウルリッヒ・リリエ氏** (Ulrich Lilie)

ドイツ福音主義教会連盟（EKD）ディアコニア部門議長

1977年ショール兄弟記念高校卒業。神学をドイツのボン、ゲッティンゲン、ハンブルク各大学神学部で学ぶ。1981 - 1982年に兵役拒否代替社会奉仕活動をキリスト教会内で行う。その後補教師として牧会にあたった後に1989年正教師に任職。1990年から教会のディアコニア組織で働きながら並行して教会組織の中で活動。

2015年2月からEKDディアコニア（奉仕）部門議長

コメンテーター **朴 思郁 氏**

日本バプテスト連盟宣教研究所所長

第二次世界大戦後、ドイツの社会形成にあって戦争責任の視点を常に大切にしながら、リーダーシップを発揮してきたドイツ福音主義教会連盟。しかし、今日、ドイツも日本と同様に、右傾化の波にさらされ、移民排斥の風潮に苦悩しています。そうした中であって、福音をいかに聴き、歴史や時代の中でキリスト教会はいかに生きるべきか。講師から聴きつつ、共に考えるために講演集会を企画しました。乞うご期待ください。

●主催 **日本バプテスト連盟 憲法改悪を許さない私たちの共同アクション**

ACTION
for
PEACE